


三条教区通信

第 75 号

発行日 2013年9月1日 WEB 修正版
 発行者 三条教務所長 鷺尾 幸雄
 発行所 真宗大谷派三条教務所
 〒955-0071 三条市本町 2 丁目 1-57
 E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
 ホームページ: www.gobosama.net

三条教区 

今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

み仏をよぶわが声は
 み仏のわれをよびます
 み声なりけり

甲斐和里子 1868年～1962年

My voice that calls to Amida is the voice
 of Amida calling to me.

Kai Wariko (1868-1962)

三条教区災害対策委員会のお知らせ

7月末から8月初めにかけての集中豪雨により被害を受けられた方々に心からお見舞いを申し上げます。

現在、長岡市乙吉町の第14組西樂寺(春日 崇住職)の寺院・門徒宅及び第14組蓮壽寺(日下部文典住職)門徒宅における床上浸水、和島地区の第11組淨善寺(高尾和人住職)門徒宅、与板地区の第11組恩行寺(小坂 拓住職)、圓滿寺(源川秀教住職)寺院・門徒宅における床下浸水の報告を受け、お見舞い申し上げるとともに本願寺タオルをお届けしました。また、圓滿寺におかれましては、本堂裏において土砂崩れが生じ、土手上の墓地へつながる参道舗装下の土及び立木が後堂へなだれ込む被害を受けられています。

また、他にも被害を受けられた寺院・門徒宅もあるかと推察されますので、被害状況報告書を本通信と合わせて全寺院発送にてお送りしますので、お手数ですが教務所までお知らせください。

皆様にご協力いただいております三条教区独自の東日本大震災救援金は、2013年9月1日現在、総額13,752,547円となりました。

これまでの救援金寄託状況及び復興支援活動資金の使用状況は以下のとおりです。

2,000,000 円	東京教区	2012年2月14日
10,000,000 円	仙台教区	2012年4月13日
1,170,237 円	東日本大震災復興支援活動資金	

ご報告いたしますとともに、さらなるご協力をお願い申し上げます。

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌事業計画

教区御遠忌については、これまで、2011年度、教区御遠忌検討委員会において、教区内で行った教区御遠忌に関するアンケート調査等を基に御遠忌の骨子について答申書がまとめられ、それを受けて、2012年度に発足した教区御遠忌実行委員会において、教区御遠忌の具体的な方向性と必要な事業について計画が行われてきました。

その中で、御遠忌の趣旨については、教区御遠忌を本願念仏に生きる人の誕生を期し、御遠忌後の教区の方向性を見据えた取り組みを行うこととされました[三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌実行委員会規程第1条(目的)]。

実行委員会は、法要部会、教化部会、別院整備部会、募財部会、広報部会と正副組長連絡協議会により組織され、各々の部会で計画された内容について、実行委員会及び連絡協議会において、意見交換と精査が行われてきました。

その結果、2012年度教区会・教区門徒会にて議決された当初予算からさらに具体的に編成された補正予算について、本年度、議決を得、目下、さらに各事業の整合及び綿密な計画が進められています。

事業計画については、未だ検討中の事項が含まれますが、ここに中間報告として、教区内の皆さまにお知らせし、御遠忌が教区を挙げての私どもの歩みとなりますよう、尚一層の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

まず、法要部会では、御遠忌法要を機に、別院に関わる人材発掘・育成をはかり、また、組単位の協力を得ることにより、組内寺院の関係づくりが促されることを期待し、御遠忌までに2回厳修されるお取り越し報恩講から、その基盤づくりを行っていくことを趣旨として計画が進められてきました。主な計画内容は以下のとおりです。

- 1 法要名称
三条教区・三条別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要
- 2 法要期間
2015年5月19日(火)から2015年5月24日(日)までの五昼夜
- 3 法要行事
①帰敬式(毎日1回執行)
②同朋唱和 初中結以外の法要について、すべて、正

信偈草四句目下、念佛讃洵三、和讃 弥陀成佛ノカタハ次第六首、回向 願以此功德とする。

③法話 毎日 13 時から 90 分間行う。ただし、24 日(日)は、日程の都合上、14 時からとする。

テーマ「いのち」

④お斎(毎日2回 弁当)

③御参修(毎日)

④御親修(結願日中)

⑤庭儀 5 月 24 日(日)結願日中前

4 音楽法要

①期日 5 月 19 日の午前中(初逮夜以前)

女性助音(五条袈裟依用不要)

5 月 23 日の日中法要 声明会中心の助音

②合唱団 三条別院報恩講の音楽法要協力合唱団(7 団体余)

5 御本尊動座式・還座式

①期日 動座式 2013 年 11 月 8 日(金)14 時

還座式 2014 年お取り越し報恩講以前

②場所 仮御堂(同朋会館 2 階研修室)

6 参拝者受け入れ

①組指定団参 4,200 人(1 日平均 700 人×6 日間)

②自由参拝 600 人(1 日平均 100 人×6 日間)

7 組指定団体参拝

①形態 1 日参拝を基本とする(報恩講の参拝形態に準ずる)

19～22 日については、門徒戸数に応じた各組指定団参(1 組 2 日間)とする。

23、24 日については、兼業・就業等の理由から休日参拝を希望する参拝者のため、各組バス 1 台分(40 人程度)の参詣席を確保する。

②参拝奨励費 各組指定団参に対して、1 人 1000 円の参拝奨励費を交付する(各組へ一括交付)。

③団参バスの乗降は、境内外の指定場所とし、境内への乗り入れは行わない。

8 人材の発掘・育成

助音・掛役育成研修について、2013 年から各組から 1～2 名、研修に参加していただき(2013 年、2014 年別院報恩講への習礼、法要への参加を中心に)、御遠忌に加勢していただく(別院報恩講実行委員会にて計画)中。

次に教化部会においては、教区御遠忌の根幹となるべき基本理念(念仏申しませうという趣旨)を構想しつつ、以下のような教化事業について検討しています。

1 子ども御遠忌

子ども、親、祖父母等が世代を越えて、また、専業・兼業、住職・若院・坊守・若坊守、その他、寺族・門徒と市民がともに集い、親鸞聖人の教えに触れることのできる場をひらく。

①期日 2015 年春期

②会場 三条別院

2 教区同朋大会

教区教化事業及び御遠忌法要参拝の基盤的役割を担う、寺院・組・教区の役職者が集い、教区御遠忌に向けた決起集会とする。また、「親鸞となむの大地」展の参観奨励を行う。

①期日 2014 年 4 月 27 日(日)

②会場 長岡市立劇場

③対象 住職、坊守、若院、組門徒会員、組推進員役員、その他

④人数 1,500 人

3 海外青少年研修

広く一般に仏教に触れる原体験をしてもらえるような海外研修旅行を行う(事前・事後の学習会を伴う)。

①期日 2015 年 2 月ないし 3 月

②会場 三条別院、海外開教区ないし海外仏教遺跡

③対象 一般、寺族、門徒

④人数 30 人

4 親鸞聖人顕彰

当教区内に存在する親鸞聖人の伝承資料や御木像について、2007 年から調査・集約を行ってきたものを中心として出版する。

①期日 2015 年 5 月(御遠忌法要前までに発行)

②対象 寺族、一般

③部数 1,000 部

④頒布 寺院 500 部(無償)、その他(有償)

5 同朋唱和練習帳改訂版

御遠忌法要をはじめ、日常勤める正信偈・念仏・和讃のお勤めを練習(講習)するために使用できる大型練習帳及び CD を作成する。

①期日 2014 年 4 月

②対象 寺族、門徒

③部数 1,000 部

6 宗祖御影巡回

別院本堂御修復工事の期間、普段は本堂に安置されている宗祖親鸞聖人の絵像とともに各地域を巡回し、御遠忌法要並びに三条別院について周知する。

①期間 2013 年 11 月～2014 年 10 月

②会場 各地域の寺院、その他

③対象 門徒、寺族、一般

7 法要プレイベント

若年層を中心としたコンサート等による大規模イベントを催す。

8 その他

展示会地区巡回(中村久子展などの展示会を佐渡、新潟、長岡地区を巡回実施)、黒衣の御遠忌(帛依三宝にかえり宗祖御遠忌の意義を確認する)。

9 教化センター拡充

教区内若年層の僧侶について、現代・地域において仏教を発信する者として育成する機関である教化センターについて、第 10 期(1 期 2 年、計 20 年)を迎えることを機会に、旧御堂へのセンター施設の移設に併せ、指導運営体制とカリキュラムを再構築する。

次に別院整備部会では、御遠忌検討委員会の答申内容[将来において大きな問題となることを防ぐ範囲の工事内容を基本とする]を受け、設計監理に高島設計・高島永国氏(福井市上北野)、仏具仕様に関する有識者・松浦範夫氏(第 11 組運行寺住職)を迎え、まず、建物躯体及び土台に

大きな問題がないことを再確認した上で、設計・仕様を決定しました。

業者選定に関しては、建築工事と仏具工事に分けて見積もり合わせ説明会を行い、提出された見積り結果をもとに、業者選定に係る作業を行いました。その後、6月開催の臨時教区会・教区門徒会・院議会において、工事仕様、工事費並びに契約方法を含めた業者選定に関する議決を経て、現在、9月末までの消費税増税経過措置(5%据置)の適用を受けるため、契約に向けて作業を行っています。

1 趣旨

地域の教化の中心道場である三条別院の老朽した建物・設備の補修を行う。また、旧御堂について、地域に開かれ、仏教を発信し、人材を育成するに相応しい場として活用するための改修を行う。

- ①工事箇所 本堂、旧御堂、書院、奥書院、同朋会館、鐘樓堂、白洲
- ②工事内容 経年による修復必須箇所が多いことによる広範に及ぶ修復工事。詳細は以下のとおり。
- ③施工業者 仏具・建物ともに2013年9月契約予定。
- ④工期 2013年11月9日着工、2014年10月25日竣工(予定)
- ⑤総工費 274,500,000円(仏具 73,500,000、建物 186,900,000、設計監理等 14,100,000円)

2 建築工事

(1) 本堂改修

- ①床改修(内陣・余間・後堂・廻廊の床を剥し、隙間を詰めます)
 - ②白漆喰壁改修(白壁を剥がし、新たに塗り替えます)
 - ③向拝階段新設・向拝及び基壇階段改修(傾斜角の緩い階段を設置します)
 - ④外装工事(香部屋廻り外壁・改廊外壁を修復します)
 - ⑤外縁修復(一旦外し、隙間を詰めます)・高欄手摺修復(部分修復)
 - ⑥屋根修繕(銅板の傷みのある部分のみを修繕します)
 - ⑦内部改修(内陣・余間・鞘の間・後門口等の壁の下地から修復します)
 - ⑧内部改修(香部屋の壁、建具を修復。一部新調します。)
 - ⑨建具工事(外部建具・内部建具を修復。一部新調します)
 - ⑩畳表替え(外陣・参詣席の前面表替えをします)
 - ⑪鍔金物工事(一旦外し、鍍金しなおします)
 - ⑫基壇改修・土留め
- ※鍔金物工事は建築工事に含まれます。
 ※内陣輪灯瓔珞吊下げ昇降装置(電動リフター)を設置します。
 ※香部屋屋根部分は部分的に修繕します。
 ※床改修部分は全面捨て張りし、床からの風の吹き込みを改善します。

(2) 旧御堂改修

- ①外壁改修(外壁を全面張りなおします)
- ②内部改修(冷暖房を完備し、テーブル、椅子、音響機材を備えた講堂形式とした部屋の他に、教化センター

学習室新設・書庫新設・仏具庫新設・和室新設します。)

- ③建具工事(和の趣きを残した建具を新調します)
 - ④廊下床改修(現在の床板を外し、新たな床板が貼られます。)
 - ⑤香部屋改修(間取りはそのまま、壁・床・建具を修繕します。冷暖房完備)
 - ⑥バリアフリー(旧御堂から会館廊下へ降りる複雑な階段部分にスロープを新設する)
- ※廊下、床面の改修箇所は全面捨て張りし、機密性と強度の向上を図ります。
 ※各部屋の天井裏部分全面は断熱材を入れ、冷暖房効率の向上を図ります。
 ※赤外線暖房器具を新設します。
 ※天井にサーキュレータを取り付けます。
- ### (3) 書院改修
- ①屋根瓦葺き替え(全面を安田瓦に葺き替えます。)
 - ②床下防蟻処理(白アリ対策をします。)
 - ③内部改修(壁を全面塗り替えます。)
 - ④外壁改修(前面張替えます)
- ※現書院のモルタル壁(青着色)は解体し、聚落壁を塗りなおします。
 ※エアコンを新設します。
- ### (4) 奥書院改修
- ①屋根瓦葺き替え(全面を安田瓦に葺き替えます。)
 - ②外部修繕(全面張替え)
 - ③内部修繕(部分修復)
- ### (5) 境内白洲
- ①土系舗装工事(DPSサンド工法により土壌を改善し、凹凸が生じにくくします。)
- ### (6) 同朋会館修繕
- ①展示コーナー新設(現在の2階吹き抜けは塞がれます。)
 - ②2階研修室 畳表替え(全面畳の表替えをします。)
 - ③教化センター室改修(応接室として使えるよう改修します。)
 - ④修繕・補修(エアコン・電気設備)
 - ⑤喫煙室(渡り廊下外に新設し、完全分煙します。)
- ### (7) 渡り廊下改修
- ①床改修(全面張替え)
 - ②風防新設(本堂取り合い部分にポリカーボネード製の、風防を常設します。)
- ### (8) 鐘樓堂
- ①化粧直し(全面吹付塗装し、床面は張り直しをします。)
- ## 3 仏具工事(本堂内陣)
- ①柱 16本(金箔を剥がし、下地から塗り替えます。※施工範囲は長押下端迄とし、外陣正面10本は天井廻り縁迄までとする。)
 - ②折れ障子(純銀箔を使用した白檀仕上げとする)
 - ③唐狭金具7枚を御洗濯(※下地より全面金箔を押し直します)
 - ④金紙張り(小壁部分の金箔張りなおし・蓮水は新調)

※内陣仏俱類は修復・お洗濯をし、一部は新調する。

※下地は建築工事にて施工。

※旧御堂外陣正面 額「不退風航」の御洗濯

※太鼓(皮の張替え)

なお、工事内容については、今後、図解による形でわかりやすくお知らせさせていただく予定です。

次に募財部会は、2012年度において募財チラシを作成し、皆さまに寺院御香儀(1口3万円)並びに御遠忌懇志金(1戸5千円)をお願いし、現在、寺院御香儀については、13,560,000円の御依頼に対し、17,620,000円(収納率129.9%、完納率58.3%)、懇志金については、288,990,000円の御依頼に対し、107,449,899円(収納率37.2%、完納率35.8%)、総額125,069,899円をお納めいただきました。今後、皆さまにさらなるご理解とご協力を頂けるよう努めつつ、記念品の調製、指定寄付等について検討がなされます。

最後に広報部会では、基本方針として、一般に三条別院の存在を知ってもらうことや、坊守、准坊守、当院等の寺族にも幅広く教区御遠忌を周知徹底することで、「知る→学ぶ→関わる」という形でつながりが広がることを意図した広報が展開されます。計画中の事業は以下のとおりです。

1 駒札(近隣広報企画)

①趣旨 教区御遠忌法要の厳修にあたり、近隣広報企画として駒札を制作し設置する。従来の木製の駒札ではなく、世界に誇る技術を持ったこの地域だからこそできる駒札を制作し、地域全体さらには日本全体に教区御遠忌が広まることを目的とする。

②設置場所 三条別院山門前

③設置期間 2014年5月～2015年5月法要終了まで(法要終了後は、三条教区同朋会館に展示する)

④制作者 玉川堂

玉川堂は、日本の金属加工業者の1つである。日本国内の地場産業として有名な新潟県燕市の金属加工業の中でも唯一、1枚の銅板を鋸で叩き起こして銅器を製作する「鋸起銅器」の伝統技術を二百年弱に渡って継承している老舗企業。銅に多彩な着色を施す技術は、世界でも玉川堂のみが保有している。世界最高品質の銅器を製造し、世界中に顧客を持つ。

⑤形態 鋸起銅器駒札(銅を打ち出して文字を表す駒札)

⑥揮毫予定者 金澤翔子氏

金澤翔子氏は、ダウン症の障害を持ちながら、5歳から書家である母・泰子氏に師事して書道を始め、仏教にも関心をもたれ、建長寺(鎌倉)、建仁寺(京都)、東大寺(奈良)などで個展を開催し、また書の奉納も行っている。全国各地講演会や個展と合わせて席上揮毫を行い、2012年のNHK大河ドラマ「平清盛」の題字や長岡大花火大会の題字も担当している。なお、母・泰子氏と行動をとものにされ、席上揮毫に合わせて、泰子氏が子育て等についての講演も行っている。

⑦席上揮毫・講演会 2013年11月1日

⑧広報 新聞、長期取材・全国放送によるTV取材等

2 井上雄彦氏作屏風「親鸞」の展示会

①趣旨 若い世代への御遠忌法要の周知と及び三条別院へ足を運んでもらうことを目的とする。

②展示期間 法要期間中

③場所 三条別院 旧御堂

④東日本大震災復興支援を趣旨として開催する

⑤井上雄彦グッズの販売

⑥募金箱の設置

3 御遠忌グッズの製作

(1) バッジ

①趣旨 教区御遠忌に向けて、各自の御遠忌への意識向上を目的とする。

②対象 教区内寺族・門徒

③使用方法 輪袈裟・肩衣・かばん等に装着する

④配布時期 2014年春

⑤デザイン 御坊市出店者と連携

(2) 御遠忌 Tシャツ

①趣旨 児童夏の集い参加者にプレゼントし、参加者への広報だけでなく、Tシャツを着ることで家庭や学校において御遠忌の広告塔になってもらうことを目的とする。

②対象 夏の集い参加者(子ども・スタッフ)

③配付時期 2013年8月22日

④制作枚数 105着(8/30現在)

⑤デザイン 佐々木一人氏(第16組浄宮寺)

⑥業者 インターブリードデザインワークス

(3) ポケットティッシュ

①趣旨 各寺院において寺族から門徒へ「手渡し」による広報として実施する

②対象 寺院・教会及びその所属門徒

③配付時期 2013年11月

④配付方法 2013年10月 全寺院発送にてサンプルを送付後、2013年11月 各寺院へ手交

⑤制作個数 50,000個(各寺院門徒戸数分を上限とする)

⑥業者候補 ポケットティッシュのポケ蔵

⑦デザイン ポスターデザイン、もしくは封筒デザインを使用。法要期日を掲載する

4 『御遠忌通信』の発行

①趣旨 教区御遠忌関連の情報を共有し、各自の御遠忌の関心が高めることを目的とする。

②対象 教区内寺族・門徒・一般

◆第14号御遠忌通信

①発行日 2013年7月1日発行済

②配付方法 全寺院発送便に同封、教区同朋会館フリースペースに設置、他

③制作部数 700部

④内容 広報理念、ポスター第一弾の周知、三条別院紹介、「昔の写真探してます」

◆第15号御遠忌通信

①発行日 2013年12月頃

②内容 御遠忌Tシャツ報告、別院整備状況、動座式報告

- 5 ポスター
- ◆第1弾ポスター
 - ①趣旨 第一弾としてまずは御遠忌法要が2015年5月に厳修されることの周知を目的として発行
 - ②対象 寺院・教会及び門徒
 - ③発行 2013年6月末発行済
 - ④発行部数 1,000部
 - ⑤配付方法 全寺院発送便に同封
 - ⑥デザイン 筆耕 草間朋哉氏(第12組勝覺寺)
 - ◆第2弾ポスター
 - ①発行 2013年12月末
- 6 教区ホームページ広報
- ①趣旨 教区ホームページを御遠忌の広報媒体とし、広く一般に教区御遠忌法要の厳修を広報することを目的とする。
 - ②内容 教区ホームページのトップ画面(三条別院の写真部分)をフラッシュ化
 - ③発信期日 2013年9月末予定
 - ④デザイン 小林智光氏(第12組淨照寺)
- 7 交通広告
- ①趣旨 一般広告媒体を活用し、不特定多数の方々幅広く教区御遠忌を広報することを目的とする。
- (1) 園バス広告の実施
- ①内容 園バス用の大型ステッカーの制作
 - ②対象 教区内大谷派保育協会加盟園バス
 - ③時期 2014年4月頃
- (2) 路線バス広告
- ①内容 路線バスの車内広告、路線バスの車内アナウンスの活用
 - ②対象 教区内路線バス数台
 - ③時期 2014年度
- 8 御遠忌総計画の広報紙
- ①趣旨 教区御遠忌法要及び法要前並びに法要中に企画されている事業に関する情報が網羅できるような広報紙を発行する[団参募集チラシ(法要部会)と連携する]
 - ②対象 寺族・門徒
 - ③発行時期 2014年4月に開催の同朋大会にあわせて発行する
 - ④発行部数 1,500部
- 9 本堂工事中の垂幕広報
- ①趣旨 別院本堂の修復中に設置される仮囲いに垂幕を掲げることで、近隣の方々への広報を目的とする。
 - ②時期 2013年11月から2014年11月まで
 - ③対象 近隣住民等
- 10 広報についての学習会の開催について
- ①趣旨 教区御遠忌の広報に携わるものとして、宗派における広報のあり方やそのノウハウを学び、教区御遠忌のさらなる広報に資するため、学習会を開催する。
 - ②開催時期 2013年11月21日
 - ③場所 教区同朋会館
 - ④講師 海 法龍氏(東京教区)
 - ⑤対象 広報部員

- 11 他団体との連携
- 三条マルシェとの連携
 - 開催日 2013年10月14日(月・祝)
- 12 今後の協議事項
- ①大谷保育協会加盟園との連携について
 - ②既存事業との連携について
 - ③映像記録について(法要当日)
 - ④新聞広告、協賛後援企業について
 - ⑤近隣広報(商店街、行政、JC、商工会)について
 - ⑥メディア広報について
- その他、広報事業として、実行委員会のもと、以下の計画がなされています。

(1) 法灯ランナー

- ①趣旨 親鸞の教え(法灯)が新潟の地に届き、息づいていることを象徴する、京都から三条別院まで聖火ランナーを行う。
 - ②期日 2015年5月
 - ②会場 京都本山から三条別院
 - ③対象 一般ランナー
- 以上が、この1年間、各部会において鋭意検討されてまいりました事業計画です。

何分、このたびの2011年度の御遠忌検討委員会に始まった教区御遠忌までの道のりは、本山宗祖御遠忌のための9年間の募財期間を経た後に、本年度から5年間増額がなされていく宗派経常費御依頼額を前に、可能な限り無理のない教区御遠忌予算(募財)規模を念頭に置き、始められた歩みでありました。その他、教区を取り巻く、教区・組の改編、消費税増税、また、東日本大震災後の被災者支援や原発問題を見据える中、教区の皆さまには、全く唐突とご指摘を受けるほどの短期決戦型の道のりとなりましたが、2015年の三条教区・三条別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要厳修まで、あと1年8ヶ月となりましたただ今において、未だ不確定要素を含む内容ではありますが、中間報告として、お知らせさせていただき、皆さまのご理解と教区御遠忌へのご参画を頂きたく、何卒よろしく願いいたします。

教 区 会 通 常 会 報 告

2013年7月26日開催の教区会通常会(小林光紀議長・楠 雅丸副議長)において、新割当基準に基づく宗派経常費御依頼について、宗務総長宛に下記のとおり意見書を提出することが可決されたことにより、本山へ報告しましたのでお知らせします。

意 見 書

2013年7月26日

里雄宗務総長殿

三条教区会議長 小林光紀
三条教区議員 一同

里雄宗務総長におかれましては安原内局に引き続いて宗務行政にご尽力頂いております事に心から敬意を表する次第であります。

しかしながらこの度の地方ご依頼総額に基づいての当三条教区への御依頼について到底納得のいかない点があり、これは単に我が教区だけの問題と言えない根本的な問題を孕んでおることから、宗議会で2013年度予算が議決されたとはいえ、当教区では以下の点を指摘し、教区会の全員一致の議決のもと今後の宗務運営に以下の問題点を是正して頂くよう意見書を提出する次第であります。

1 財政面

地方ご依頼にあたって依頼総額の見直しがなされていない点

現在進められている教区・組の改編は行財政改革の基に行われることであれば当然このことが御依頼総額に反映されるべきである。

その他無駄を省き、まずスリム化する自助努力をするべきである。

2 門徒戸数調査

門徒戸数調査と言いながら実態は指数を出し、それに基づく依頼がなされていることは教区実情と乖離している。我が教区では3年ごとに自主申告過去5年間にわたり門徒戸数調査を実施しており、その調査結果に基づき各ご寺院に御依頼してきた経緯があり、いきなり門徒指数に基づき教区内での依頼をすることには大きな問題があり、従って2013年度の各ご寺院への御依頼も混乱を避ける事から門徒指数は今回適用しない事であります。

3 委員会構成

特に地方ご依頼を決める委員会において公平、公正、適正を謳いながら、その委員会構成メンバーは利害関係のある教区代表者によってなされている事には大いに問題があり、第三者委員会で慎重審議されるべきである。

今後各教区間の不信感を増長していく御依頼がなされる事の無きようお願い、茲に三条教区会としての意見書を提出する次第です。

研修会のご案内

■ KANGYO Primary School 開催案内同封

- ◆日時 ①2013年9月2日(月)15:00~17:00
②2013年9月3日(火)13:00~15:00
- ◆場所 ①第20組 金寶寺
②アオーレ長岡 多目的室A
- ◆講師 四衢 亮 氏(高山教区 不遠寺)
- ◆内容 王舎城の悲劇について
- ◆対象 どなたでも
- ◆参加費 500円
- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

■ 声明基本講習会 開催案内既送

- ◆日時 2013年9月9日(月)9:30~16:00
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆講師 声明講習会部門スタッフ
- ◆内容 「得度班」「声明研鑽班」「法務研鑽班」に分かれての講習

- ◆対象 どなたでも
- ◆参加費 500円
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宮野)

■ 「差別と真宗」交流学習会Ⅰ 開催案内既送

- ◆日時 2013年9月12日(木)
- ◆講師 武本和幸 氏(柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会 委員)
- ◆講題 「原発問題の本質を共に考える」
- ◆会場 教区同朋会館
- ◆参加費 500円
- ◆問合せ 三条教務所(担当:藤波)

■ 寺院におけるIT活用に関する研修会 開催案内同封

- ◆日時 2013年9月30日(月)
- ◆講師 桑原 真二 氏(有限会社ITS社員)
小林 智光 氏(社会広報部会 委員)
- ◆内容 「ブログで始める! お寺の活性化」
ホームページやSNSの活用について
- ◆会場 教区同朋会館
- ◆参加費 500円
- ◆問合せ 三条教務所(担当:藤波)

■ 長岡地区女性研修会 開催案内同封

- ◆日時 2013年10月1日(火)9:30~15:00
- ◆場所 第13組善行寺(宮原)
- ◆講師 里村専精 氏(第20組最福寺前住職)
- ◆テーマ 韋提希に学ぶ—思いを超えた現実と観無量寿経の救い—
- ◆対象 どなたでも
- ◆参加費 1,500円(昼食代含む)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宮野)

■ 第39回推進員研修会 開催案内同封

- ◆日時 2013年10月3日(木)10:30~15:30
- ◆会場 三条別院本堂、教区同朋会館
- ◆講師 三島多聞 氏(岐阜県高山1組真蓮寺)
- ◆講題 「中村久子女史の信仰」
- ◆参加費 1,500円(昼食代含む)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:藤波)

※10月1日~3日の3日間、中村久子写真展
「生きる力を求めて」を、別院旧御堂にて開催。

■ 歴史講座 開催案内同封

- ◆日時 2013年10月4日(金)14:00~17:00
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆講師 高橋健男 氏(満蒙開拓史研究者)
- ◆講題 「満州開拓、時代背景とその実態」
- ◆対象 どなたでも
- ◆参加費 500円
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宮野)

■ 「差別と真宗」交流学習会Ⅱ 開催案内同封

- ◆日時 2013年10月7日(月)~8日(火)
- ◆会場 東北地方太平洋沖地震現地復興支援センター
仙台教区眞行寺
- ◆講師 佐々木道範氏(仙台教区眞行寺住職)
清谷真澄氏(現地復興支援センター主任)
- ◆テーマ 「福島原発事故から生じた被災者及び被災地に対する差別問題」

- ◆参加費 15,000円(旅費、宿泊費を含む)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:藤波)まで
- 仏青報恩講 開催案内後送

- ◆日時 2013年10月23日(水)14:00～
- ◆場所 三条別院
- ◆講師 四衢亮氏(高山教区 不遠寺)
- ◆内容 王舎城の悲劇について
- ◆対象 どなたでも
- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

教務所からのお知らせ

◎法務手伝い希望について

教区内勤務希望 30代男性 有教師
可能な寺院がありましたら教務所へ連絡ください。

◎ラジオ放送「東本願寺の時間」について

宗派が1951年11月よりラジオ伝道として放送している「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きいただけます。

- 講師 8/4～9/14 池田 徹氏(三重県西恩寺)
- 9/15～10/26 藤井善隆氏(大阪府即應寺)
(変更になる場合があります)

- 放送局 BSN新潟放送
- *新潟県全域をカバー
- ・小出エリア 1026KHz
- ・中越エリア 1062KHz
- ・下越エリア 1116KHz
- ・塩沢エリア 1485KHz
- ・上越エリア 1530KHz

- 時間 毎週金曜日午前5:00～5:10
- 提供 吉運堂様

◎教区行事予定表

2013年	
9/2(月)	～3日 KANGYO primary school
9/3(火) 15:00	声明研修会部門スタッフ学習会
9/4(水) 14:00	企画委員会
	14:00 保育研究部会
9/5(木) 16:00	選挙管理会
	17:00 教学研究会部門輪読会
9/6(金) 14:00	大谷大学同窓会
	14:00 (遠)法要部会
9/7(土) 14:00	真宗学院
9/9(月) 9:30	声明基本講習会
9/12(木) 14:00	「差別と真宗」交流学習会 I
9/13(金) 14:00	保育三条支部理事会・総会
9/14(土) 14:00	真宗学院
9/19(木) 14:00	教化センター
9/20(金) 17:00	如来会学習会
9/23(月)	～26日 別院秋季彼岸会
9/24(火) 15:00	(遠)広報部会
9/25(水)	～26日 教如上人400回忌法要
9/26(木)	教化センター
9/28(金) 14:00	真宗学院

9/30(月) 14:00	社会広報部会研修会
10/1(火) 9:30	女性研修会(第13組宮原善行寺) ～3日 中村久子展(推進員主催)
10/3(木) 10:30	推進員研修会
10/4(金) 13:30	歴史講座
10/5(土) 14:00	真宗学院
10/7(月)	～8日 差別と真宗交流学習会Ⅱ(福島)
10/10(木) 14:00	教化センター
	14:00 青少年関係3研修会部門会議
10/12(土) 14:00	真宗学院
10/16(水) 14:00	企画委員会
10/17(木) 14:00	教化センター
10/19(土) 14:00	真宗学院
10/23(水) 14:00	仏青報恩講
10/24(木) 14:00	教化センター
10/25(金) 8:30	別院秋の清掃奉仕(おみがき他)

(遠)は三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌実行委員会関連であることを示します。

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれています。また、日程は変更される場合があります。

新潟親鸞学会からのお知らせ

【新潟親鸞学会入会の申し込み・お問い合わせ】

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783 超願寺内
☎025-222-2820 FAX 025-222-2830
Eメール choganji@nifty.com
新潟親鸞学会デスク(ブログ):
<http://niigata-shinran.cocolog-nifty.com/blog/>

三条仏青有志会ボランティア

三条仏教青年有志会は教区災害対策委員会と連携し、東日本大震災で被災された方々の支援活動を行っています。活動に参加いただける方はご連絡ください。

連絡係 藤井信彰(14組長楽寺)shinsho@nct9.ne.jp

